

製品名: リン酸化 LAT(Y191)ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe83688

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 28 kDa ; Observed MW: 38 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-LAT(Y191)
別名	36 kDa phospho-tyrosine adaptor protein; LAT1; lat; pp36;p-LAT (Y220)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P13861
免疫原	Y220 のリン酸化部位周辺のヒト LAT 由来の合成ペプチド

背景

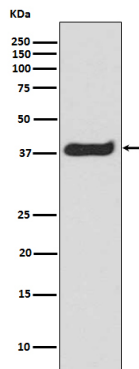
成熟 T 細胞およびその発達過程において、TCR (T 細胞抗原受容体) およびプレ TCR を介したシグナル伝達に必須です。ナチュラル

キラー細胞における FCGR3（低親和性免疫グロブリン γ 領域受容体 III）を介したシグナル伝達、およびマスト細胞における FCER1（高親和性免疫グロブリン ϵ 受容体）を介したシグナル伝達に関与します。

研究分野

-

画像データ



CD3 溶解物で処理した Jurkat 細胞における Phospho-LAT (Y220) のウェスタン ブロット分析。